

令和7年度 志摩市公共施設太陽光発電設備等導入事業  
(PPA事業・学校給食センター) 公募型プロポーザル方式審査要項

## 1. 審査の対象者

本プロポーザルの審査対象となる事業者は、令和7年度 志摩市公共施設太陽光発電設備等導入事業(PPA事業・学校給食センター) 公募型プロポーザル方式募集要項(以下「募集要項」という。)に基づき参加申込書及び提案書類等を提出した参加者(以下「参加者」という。)に限る。

## 2. 審査の方法

- (1) 審査は書類審査及びヒアリング審査により実施する。
- (2) 書類審査は、事務局(環境・ごみ対策課)が参加者の参加資格を令和7年度 志摩市公共施設太陽光発電設備等導入事業(PPA事業・学校給食センター) 公募型プロポーザル方式実施要領及び募集要項に基づき審査する。
- (3) ヒアリング審査においては、志摩市が設置した「志摩市公共施設太陽光発電設備等導入事業(PPA事業・学校給食センター) プロポーザル方式選定委員会」(以下「委員会」という。)の委員が参加者ごとに審査項目に対して審査点を付与する。
- (4) 参加者が1者の場合であっても、審査を実施する。
- (5) 審査項目、審査基準及び点数等は、【別紙】「ヒアリング審査 審査基準」のとおりとする。
- (6) 次のいずれかに該当する場合は、審査対象から除外する。
  - ①提案書について、定めた提出方法、提出先、受付期間に適合しない場合
  - ②提出書類等内容に虚偽がある場合
  - ③参加者及び協力事業者が委員会委員等関係者に対する不当な活動を行ったと認められる場合

## 3. ヒアリング審査

- (1) 【別紙】「ヒアリング審査 審査基準」に基づき審査を実施する。
- (2) ヒアリング審査の概要は、以下のとおりとする。
  - ①参加者からの提案書に関する概要説明 20分以内
  - ②委員会から参加者へのヒアリング 20分以内
  - ③参加者の人数は3人以内で、配置予定の主担当者は出席することとし、プレゼンテーション及び質疑応答を行う説明者は、本業務の従事予定者のうち、原則主担当者が行うこと。補足説明等はヒアリングに参加する者が行ってもよい。
  - ④パソコン、モニター等の投影装置の使用は想定しない。
  - ⑤提案資料の差し替え又は追加資料の提示及び配布は認めない。
  - ⑥企業名、配置予定担当者名等の判別又は推察ができるものを会場内へ持ち込まないこと。また、企業名、配置予定担当者名等の判別又は推察ができる言動はしないこと。
  - ⑦順番については、提案書を受け付けた順とする。
- (3) ヒアリングの詳細(会場、時間等)については、後日各参加者へ郵送又は電子メールで通知する。

- (4) 次のいずれかに該当する場合は、ヒアリング審査対象から除外する。
- ①ヒアリング審査に遅刻又は欠席した場合
  - ②ヒアリング審査の実施にあたり、委員長の指示に従わなかった場合
- (5) 各委員の審査項目ごとの点数について平均点を算出（小数点第2位以下切捨）し、その合計をヒアリング審査の点数とする。
- (6) 天災その他やむを得ない事由により、ヒアリング審査はオンライン会議ツールを利用して実施することがある。提案書類の投影等、その際の審査方法は別に指示する。
- (7) 天災その他やむを得ない事由により、ヒアリング審査を延期又は中止することがある。
- (8) 審査結果は、ヒアリングを受けたすべての参加者に通知する。

#### 4. 契約候補者の決定

- (1) ヒアリング審査の点数が最も高い参加者を契約候補者に決定するものとする。ただし、ヒアリング審査の点数が60点以上であることを条件とする。
- (2) ヒアリング審査の点数が同点の場合は、別紙「審査基準」1、5、7の合計点数が最も高い参加者を契約候補者に決定するものとする。なお、当該審査項目の合計点数が同点の場合は、委員長の決するところとする。
- (3) 参加者が1者であっても審査を行い、点数が60点以上であれば契約候補者に決定する。

【別紙】 ヒアリング審査 審査基準

評価対象内容	項目	番号	評価の観点	点数
技術提案に関する事項	導入設備の内容	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術提案の具体性及び妥当性があるか。</li> <li>・太陽光発電設備の出力は、自家消費を基本とした効率の良い適当な規模となっているか。</li> </ul>	20
	温室効果ガス排出量削減	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガス排出量削減効果への高い提案がなされているか。</li> </ul>	10
	設備の設置方法	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の設置方法は実現性があるか。</li> <li>・安全性が高く、施設の構造安全性への影響が小さいものになっているか。</li> </ul>	10
実施体制	業務の遂行能力	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑かつ確実に進められる工事計画、実施体制となっているか。</li> <li>・メンテナンス計画が適切であるか。</li> </ul>	15
	事業実施にかかるリスク管理・保証	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・故障、緊急時の体制及び対応内容が明確に示され、安定した事業実施が見込まれるか。</li> <li>・事業実施中に発生するリスクに対応できる提案となっているか。</li> <li>・保険の内容、補償内容は妥当であるか。</li> <li>・設備の導入、運転期間中、撤去まで対応できる提案となっているか。</li> </ul>	20
経営状況	財務状況	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務状況に問題がないか。</li> </ul>	5
提案価格	PPA単価	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定されるPPA単価は、適切で信頼のある算出根拠に基づき算出されたものが提案されているか。</li> <li>・より安価な提案がされているか。</li> </ul>	20
合 計				100

ヒアリング審査 配点基準

番号	審査項目	点数基準
1・5・7	○導入設備の内容 ○事業実施にかかるリスク管理・保証 ○PPA単価	係 数 × 4 優れている 5点 やや優れている 4点 普 通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点
4	○業務の遂行能力	係 数 × 3 優れている 5点 やや優れている 4点 普 通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点
2・3	○温室効果ガス排出量削減 ○設備の設置方法	係 数 × 2 優れている 5点 やや優れている 4点 普 通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点
6	○財務状況	係 数 × 1 優れている 5点 やや優れている 4点 普 通 3点 やや劣っている 2点 劣っている 1点